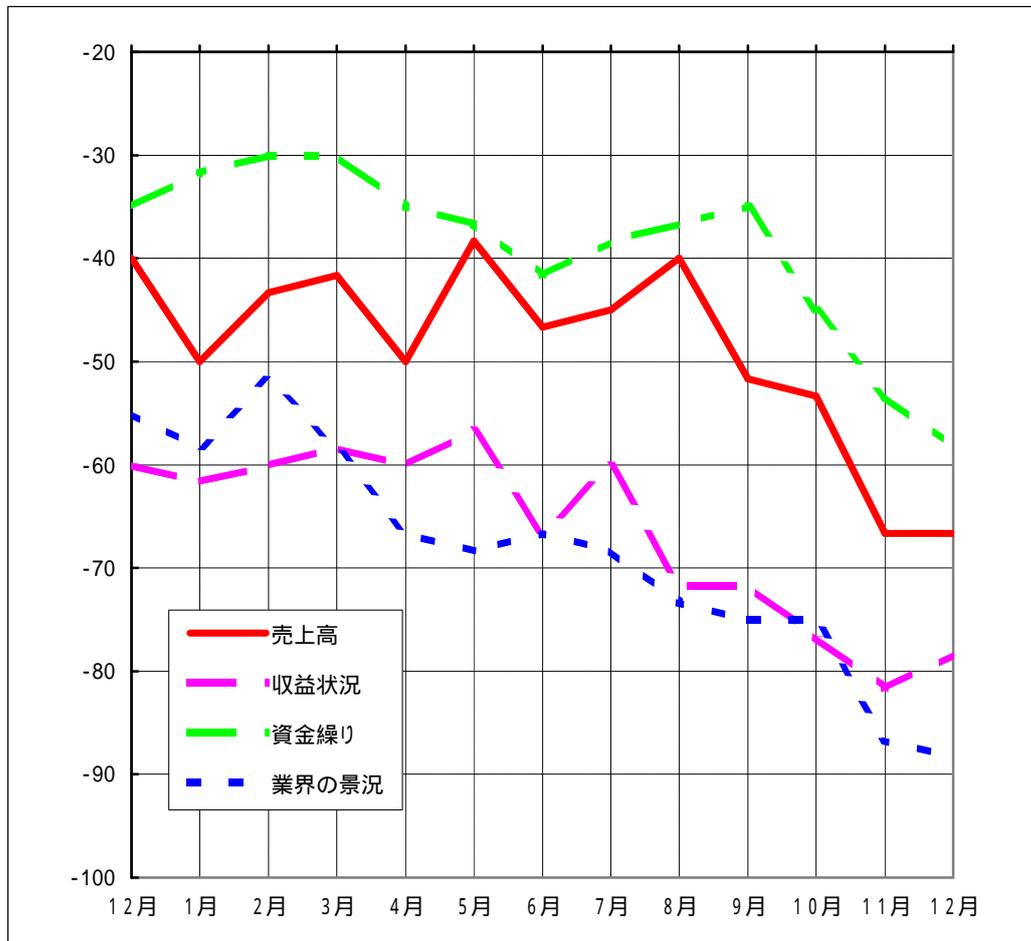


## 業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値

平成19年12月～平成20年12月

単位:ポイント



H19 H20

	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
売上高	-40.0	-50.0	-43.3	-41.7	-50.0	-38.3	-46.7	-45.0	-40.0	-51.7	-53.3	-66.7	-66.7
収益状況	-60.0	-61.7	-60.0	-58.3	-60.0	-56.7	-66.7	-60.0	-71.7	-71.7	-76.7	-81.7	-78.3
資金繰り	-35.0	-31.7	-30.0	-30.0	-35.0	-36.7	-41.7	-38.3	-36.7	-35.0	-45.0	-53.3	-58.3
業界の景況	-55.0	-58.3	-51.7	-58.3	-66.7	-68.3	-66.7	-68.3	-73.3	-75.0	-75.0	-86.7	-88.3

前月より更に厳しさを増している経済情勢の中、12月のDI値は前年同月より上記全項目で悪化した。「売上高」DIは前年同月より26.7ポイント悪化しマイナス60.0%台に推移、「収益状況」DIにおいては18.3ポイントの悪化でマイナス78.3となった。また、「資金繰り」DIについても23.3ポイントの悪化でマイナス58.3と下降傾向を辿っており、「業界の景況」DIについては33.3ポイントの悪化でマイナス88.3と、非常に厳しい数値となった。

組合の特記事項から、製造業では、ほとんどの業種で売上減・受注減との報告となっており、「収益状況」DIがマイナス82.1へ転落、「業界の景況」DIがマイナス92.9と更に悪化感を強め深刻な状況となっている。

非製造業においても、消費者の買い控え等により、前月に引き続き「売上高」DIをマイナス80%台としている。「収益状況」DI・「業界の景況」DIについては、ともに好転と回答した連絡員はなく、「収益状況」DIがマイナス70%台、「業界の景況」DIがマイナス80%台と、製造業同様厳しい状況といえる。

新潟県内の景況は、製造業・非製造業ともに月を追うごとに厳しさを増してきており、今後の動向が懸念される。